



もっと考えよう!藤沢市文書館(3)

地域文書館の機能と位置付け～スイス・ジュネーブ市公文書館のHPと比較する～

国際資料研究所 小川 千代子

■藤沢市文書館とは



藤沢市文書館 HP top

2023年8-9月藤沢市によるOur Projectマスタープラン素案へのパブリックコメント募集では、文書館のありかたについて30通を超える意見が集中したことは、本誌136号でも紹介した通りだ。それは、専任館長の配置を求めただけのものではない。約50年前の1974年、日本で最初の基礎自治体の文書館として設立された藤沢市文書館は、文書館界での知名度は非常に高い。また、藤沢市文書館は、その機能として行政文書の保管保存を行うなど、先進的な活動をしてきたことでも知られている。その藤沢市が誇る藤沢市の誇り、藤沢の宝である所蔵資料をこの50年間、確かに保管維持管理並びに利用提供してきたのは、博物館や資料館が未整備の藤沢市では藤沢市文書館にほかならない。(本誌No.137既報)

■文書館の業務～藤沢市の誇りと地域の宝を守る

昭和49年7月1日付制定の「藤沢市文書館条例」は全体が4条で構成される短い条例だ。その第3条が文書館の業務を規定している。

(業務)

第3条 文書館は次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) この市の歴史資料の収集、整理、保存、調査、研究及び一般への閲覧
- (2) この市の行政資料の収集、整理、保存及び研究並びに市長が別に定めるものを除いた資料の一般への閲覧
- (3) 前2号の調査及び研究結果の発行
- (4) 前各号に掲げるほか、市長が必要と認めた業務

このように藤沢市文書館条例第3条は文書館の業務は藤沢市の誇り、藤沢の宝である歴史資料の収集整理保存及び一般への閲覧提供であることを示している。

■スイス・ジュネーブ市公文書館HPと比較する



ジュネーブ市公文書館 HP top

昨年12月1日、藤沢市歴史講座の講演で、筆者はスイス・ジュネーブ市公文書館に着眼し、その地域の公文書館としての役割や位置づけにつき、藤沢市文書館HPと比較検討を試みた。意外にも、ジュネーブ市公文書館の設立は藤沢市文書館の12年後の1986年だった。館の運営詳細は毎年発行されるはジュネーブ市公文書館『年報』にまとめられている。館が担う業務の説明や職員各人の具体的な作業成果・活動内容はもとより、研修参加、研修講師としての登壇、見学者の来訪までもが公表され、個人名も公表されていた。外部の専門家団体の会合への参加実績も含め、職員の研修研究の努力の記録は、藤沢のHPには見当たらない内容であった。

共通項もあった。例えば、周辺自治体と合併したときの日合併自治体の公文書はジュネーブ市公文書館の所蔵であり、藤沢の場合と通じる。藤沢市文書館のHPに多い館蔵資料と館出版物の紹介や催し物のお知らせはジュネーブの場合は少ない。館の活動記録としての『年報』の存在と役割の在り方には両者の違いが際立った。

ジュネーブ市公文書館と藤沢市文書館HP比較表

項目	ジュネーブ市公文書館	藤沢市文書館
設立時期	1986年	1974年
館運営報告	年報を発行しHPに掲載公開	年報は見当たらない
業務説明と活動内容	業務担当者の個人名まで毎年、年報に詳細に掲載あり	館蔵資料、館出版物の紹介、催し物周知向けの情報を掲載している
地域の過去情報資料	過去に合併した旧周辺自治体の公文書を所蔵管理公開している	過去に合併した旧周辺自治体の家文書を地域文書として収集所蔵管理公開している

おもな内容

もっと考えよう!(3)HP 考察ジュネーブ市文書館…1
散歩道・フランス・ディジョン市役所の公告版/消息(計報)…2

DJIRレポート No.138 20250110

文献/あしあと/活動 9.21~12.31……………3
巻末随想①失せ物探し②計報・猫メール……………4

【アーキビストの散歩道】 仏・ディジョン市役所告示板の結婚届

日本を脱出して高原の国スイスへ、と心を弾ませ出かけたのだが、2024年の夏のスイスは、日本と同じように暑かった。スイス到着直後の日曜日に出かけたスイスの首都、ベルンも、作業の合間の週末を利用して旅したフランスのポーヌとディジョンも、暑かった。要するに、どこもかしこも暑かった。でも、旅では珍しい経験ができる。今回は、フランス・ディジョンの中心街を見学した時がそうだった。市役所で、珍しい発見をしたのである。

ディジョンの市役所等

ディジョンは市役所と市の美術館と博物館が大きな一つの敷地と建物に入っていた。そのうち美術館はぜひ見るようにとガイドブックでもおすすめなので、行くことにした。美術館にはブルゴーニュ大公の霊廟の展示が立派だった。2頭のライオンが大公とその妻の棺を守っていた。そのライオンの姿が、なんともいじらしかった（写真①）。



結婚届告示版発見！

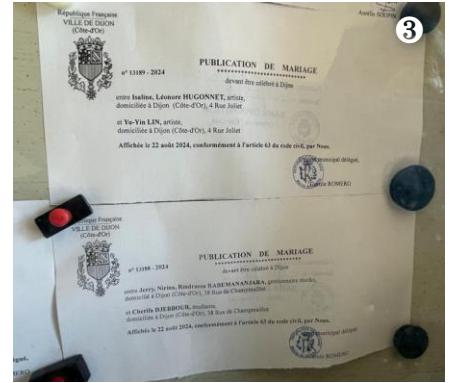
市役所部分には、告示板があった。日本でもしばしば目にする、ガラスで覆われた掲示板だ。そのそっけなさは、日本の場合とそっくりに見えた（写真②）。



その告示板を見るともなく眺めていたら、Publication de Mariage（結婚告示？）という文字が目飛び込んできた。結婚の広報告示と思われるものが、結構

何枚もずらりと掲示されている。用紙はA5判くらい

の普通紙で、左上にフランス共和国/ディジョン市（Cote -d 'Or）という文字と共に、エンブレムが印刷されている。同行の松村光希子さん撮影の写真③から内容を見ることができた。



これを Google 翻訳にかけてみたら、割とそっけないことが書いてあることが分かった。「住民 A と住民 B は 7 月 22 日に結婚を届け出たので、ここに公示する」とあり、両者のそれぞれの住所が所番地まで記されている。個人情報!?の取り扱い文化が表れている。掲載写真のカップル 2 組は、どちらも新郎新婦は同じ住所とみえた。筆者にはこれが仏・ディジョン市民の結婚観かと思われ、とても興味深かった。

市役所結婚届等受付出入口看板

右写真④は市役所の結婚届・取下げ受付出入口の看板。これも翻訳ググってみたら、選挙窓口と一緒の出入口だった。結婚届と共に結婚取下げ届もここで受付けると明示されている。これもフランス風の結婚観 = 契約を届けたり取下げたりするのがフツー、が見えた。面白い。



ジュネーブに戻ってから UNHCR の仲間に話してみたら「ちゃんと結婚届を公表して、ほかに相手がいったりしないことを確認するためだ」とか。なるほど、なるほど。しかも、スペインでは同じようなことが行われているらしかった。USA からの発言はナシ。後でスイスの事情を検索ググってみたが、こちらも類似事例は見られず。個人情報公表して自分を守る、それが欧州ラテンの考え方なのかな。（ち）

■●アーキビストの消息■機関●個人 訃報



●安澤 秀一氏 日本の文化情報学者、国文学研究資料館・史料館名誉教授、駿河台大学名誉教授。専攻は文化情報学、アーカイブズ学。東京市芝区生まれ 2024 年 6 月 18 日逝去、享年 98。葬儀は

家族葬で執り行われた。ご冥福をお祈り致します。・写真は『レコード・マネジメント』No. 74 (2018、記録管理学会) 5 頁。

●マイケル・ローパー氏 元英国国立公文書館長。1986 年 ICA 使節として来日し、全史料協が

ICA 会員加盟の要件を満たしていることを確認した。来日時に行った文書のライフサイクルについての講演は日本の文書館関係者が「文書のライフサイクル」概念に触れた最初だったと考えられている。享年 92。合掌。



【ICA 配信の、2024 年 11 月 4 日付ザ・ガーディアン紙掲載のカレン・フィリップ氏（故人令嬢）記事による。写真も同出所】
https://www.theguardian.com/uk-news/2024/nov/04/michael-roper-obituary?CMP=share_btn_url

●やぶにらみ文献紹介●◆▼●◆■

●藤井典子『徳川期の銭貨流通：貨幣経済を生きた人々』慶應義塾大学出版会, 2024, 352頁, 徳川期の銭貨流通の実態はどのようなものだったのか。一次史料から生活実態にアプローチした、近世貨幣流通史に一石を投じる労作。著者は日本銀行アーカイブの立上げや貨幣博物館で活躍されている。

●安藤正人『戦争・植民地支配とアーカイブズ1 一戦時国際法と帝国日本』タイトルに1とあることから次の一冊が続くことがわかる、素晴らしい大著だ。東京大学出版会 2024年11月29日 A5判 xi+580頁本体 12,000円。

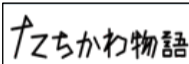
■自然科学系アーカイブズ研究会(2024年度第一回)講演録——公文書管理法と研究機関文書の収集・公開 菊谷英司(編) High Energy Accelerator Research Organization (KEK)

2024年8月 於 KEK つくばキャンパス
主催: KEK 史料室 High Energy Accelerator Research Organization High Energy Accelerator Research Organization (KEK),
2024 Internet: <https://www.kek.jp/en>

●aGoto: Katsu Goto's Imaginary Avatar Visits Oiso, Japan By Yoshinori Kato 私家版、A5判 著者加藤喜規氏は大磯在住の化学研究者、退職後ハワイで Goto Katsu の足跡に接し、帰国後専門家と共に調査を進めるうち、大磯の地に後藤の墓所を見つけ、同郷の人物と知ったという。本書は全文英語。アバターと著者加藤氏が連れ立って大磯探訪する筋立ては、事実に資料を並べること成立する地域史論文とは異なり興味をひかれる。後藤潤は、明治期の大磯出身者でハワイへの移民を

●図書◆論文▼逐次刊行物■その他●

助けた偉人として2024年からは大磯町の小学校3年4年の副読本に取り上げられたのだそうだ。



▼立川市史編さん広報紙 vol.18

目次・新編立川市史編さん事業期間延長のご報告 2/・令和5年度関連展示のご報告 2/・部会短信 3/・特集 現状記録—資料がたどってきた歴史を探るために 4~7/・令和6年4月~令和6年9月活動報告 11/・令和6年度市史編さん関連展示・講演会のお知らせ 11/連載・資料をよむ—砂川家文書からみる戊辰戦争—近代部会編集委員 宮間純一 8~10/・立川おっこぼれ話 「観察」からわかること 現状記録とスケッチ画・監修・近世部会部会長 富善一敏 12//令和6年(2024)9月20日発行立川市A4判カラー12頁 URL: dayorivol18.pdf

●石井敬一「公文書管理法と自治体文書館のマネジメント」『松本市史研究第34号—松本市文書館紀要—』(令和5年度)31-44頁, 令和6年(2024)3月31日発行, 松本市総務部行政管理課松本市文書館編集, A4判 110頁。著者石井敬一氏は令和2年4月から4年間松本市文書館長の職にあった。この間松本市は保存年限見直し(永年→最長30年)が行われ、文書館は初めて本格的公文書評価選別受入れを行うこととなった。本研究報告は、石井氏自身が担当業務として行った松本市役所における初めての本格的公文書受入れと、資料の保存方法としてのデジタル化や、普及啓発等々の試行錯誤の記録である。著者石井氏の誠実な取り組みの記録は、今後この分野の業務を担当する現役・後進アーキビストへの、優れた手引書となるに違いない。🌸

* * * * *

●千代子のあしあと●◆▼●◆ ●図書◆論文▼逐次刊行物■その他●◆▼●◆

▼DJI レポート No.138 20250110 A4判 4頁(本誌)
▼会員制メルマガナスの日通信 11月号 20241117。
■緒方資料整理海外アーカイブボランティアの会 2024 作業報告会(口頭報告) (株)カネカ東京本社会議室, 東京

■「地域と文書館~藤沢市の場合とジュネーブ市の場合の比較考察~」(令和6年度藤沢市史講座「藤沢市文書館 開館50周年を記念して」第4回『地域の中の文書館- 文書館が繋ぐ未来-』第1部講演)

DJI 国際資料研究所の主な活動 2024年9月21日~2024年12月31日

<執筆>
DJI レポート No.138 20250110 A4判 4p.PDF(本誌)
ナスの日通信 11月号 2021117 メルマガ配信
<講演・発表>
11月19日発表「UNHCR 緒方資料整理と海外アーカイブ・ボランティアの会近況と、何よりメッセージさんへの感謝」海外アーカイブ・ボランティアの会 2024年度活動報告会 (株)カネカ東京本社会議室

講座「藤沢市文書館 開館50周年を記念して」第4回『地域の中の文書館 - 文書館が繋ぐ未来 -』第1部講演)&同日第2部 特別パネルディスカッション「先人の歴史を学び、後世に繋ぐ ~文書館の将来像とは~」パネリスト: 高木秀彰氏, 松本洋幸氏と。司会: 小風秀雅氏 ((続) 藤沢市史編さん委員長・お茶の水女子大学名誉教授)、F プレイス、藤沢市
<主催>

12月1日「地域と文書館~藤沢市の場合とジュネーブ市の場合の比較考察~」(令和6年度藤沢市史

11月19日 海外アーカイブ・ボランティアの会 2024年度活動報告会「UNHCR 緒方貞子国連難民高等弁務官資料の整理」(株)カネカ東京本社会議室

<参加>

11月10,17,24日 藤沢市文書館解説五十周年記念歴史講座、Fプレイス大会議室、藤沢市
12月17日 Dr. Salim Tamari Archives & Heritage for Palestine、ジャミラ・ガダール博士とタム・ラヤンが主催 パレスチナのアーカイブと文化遺産 Zoom
12月6日川村一之氏 731部隊関連報告シブシブ You Tube 放映

<見学>

12月5日 東京学芸大学大学史資料室（図書館内）、

大学史資料協議会研究例会,東京都小金井市貫井北町
12月23日 藤沢市文書館開設50周年記念展示見学,藤沢市文書館3階展示室、藤沢市

<その他>

9月30日 10月14,21,28日 12月2,9,16,30日 ラウ先生ルーマニア語お稽古 on-line (11月休)

<健康管理>

10~12月 医療受診録 辻堂金沢内科クリニック4回,やの歯科4回(10月開院)、マリソル整形外科13回,辻堂南口耳鼻科2回,星野眼科2回、介護保険ヘルパー毎週1回来宅

■ 卷末随想

● 失せ物探し

一人暮らしの知人、前日帰宅して、翌日出かけようと思ったら財布がない。クレカもない…どうしたものだろう、という。似たような経験は珍しくない私は「冷蔵庫、洗濯機、確認してはいかが？」と経験則からおせっかいなコメントをした。「探したけど、ない…」と絶望的な返事がきた。さらにややあって「明日、業者を呼ぶことにしました」とコメント。私は内心、「エッ、業者??？」とつぶやいた。失せ物探しの「業者」がいるのかしら？翌日業者さんが来たらしく、「ありました！」の書込み。フム、で、どこにあったのかと興味津々！「電子レンジの中にありました」とすぐに掲示された。それは何より。見つかったのはほんとによかった。電子レンジで現金とかクレカとかを加熱調理してなくて、ほんとに、ほっとした。なんで私がこれほどほっとするのか、わからない。これからは、失せ物探し先に私も電子レンジを追加登録しておこう。

その二日後、洗濯物を広げようとしたときに、ふと手から洗濯物が床に落ちた。膝を曲げて、床の洗濯物を拾おうとした。その時、洗濯機の脇のポリ容器の中に数か月前から行方不明になっていた腕時計がみえた。お気に入りの、文字盤大きめの腕時計。ようやく、久しぶりに私の手に戻ってきた。「よかったね、お前は、電子レンジでも冷蔵庫でもなくて、常温環境のポリ容器で昼寝してて。。。」と声をかけた。腕時計は「何か月も埃かぶっていましたが、少し磨いてください」と言わんばかりの態度だった。手元のマイクロファイバータオルで、腕時計をしっかり磨いたら、金属部分がピカピカになった。

私は業者を呼ばなくても、時計を見つけることができ、とても満足でした。(^^♪【ナスの日通信 2411 既報】

■ 訃報：シベリア猫ミール 2024年12月3日病死、享年12。秋田県知事の佐竹家の一員で、2013年プーチン大統領が佐竹敬久秋田県知事へ贈呈したシベリア猫。秋田県は2024年12月3日、雄のシベリア猫「ミール」が病気で死んだと発表した。



「穴があいた気持ち」 抗がん剤治療中だった



12月9日の会見席での知事コメント

「シベリア猫ミール君が、12月3日午前4時に天国へ旅立ちました。平成25年2月に秋田に来てから、佐竹家の一員として我が家を明るく支えてくれた。ミール君は、出生地であるロシアの広大な自然を重ね合わせるように、おっとりとして非常に優しい大柄な猫で、ほかの猫たちと仲良く暮らしていましたが、今年6月頃から体調を崩していました。通院しながらずっと治療を続けてきましたが、最後は私や家族、猫たちに見守られながら、静かに旅立っていきました。

動画視聴などを通じ、多くの県内外の皆さまに非常に愛していただいたこと、改めて感謝申し上げます。ありがとう、ミール君。天国でも佐竹家の一員として、楽しく暮らしてください。

令和6年12月9日
秋田県知事
佐竹 敬久



2013年2月5日に、プーチン大統領から贈呈されたシベリア猫ミール君の受領式が県庁で行われました。

生前のミール動画：にゃんにゃんにゃん「猫の日」に合わせ…シベリア猫・ミール君の動画公開 | 秋田魁新報電子版
<https://www.sakigake.jp/news/article/2024021AK0040/> (ち)